

宮崎市学校施設包括管理業務委託の事業化に係る 第2回サウンディング型市場調査の結果について

令和5年6月12日
宮崎市長 清山 知憲

本市では、将来にわたり市民へ最適な公共サービスが提供できるよう、市有施設の効率的な管理運営を図るため、これまで施設ごと、業務ごとに発注していた設備点検や保守管理等の業務について、複数の施設、業務を一括して委託すること（包括管理業務委託）の導入を令和6年度から予定しています。

そのため、令和5年度に予定する公募型プロポーザル方式による候補者選定に先立ち、本市が想定する公募実施要領（案）・仕様書（案）等に対し、参入を検討している事業者の意見を把握することを目的にサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果の概要を公表します。

なお本調査においては、当公表内容以外にも多くのご意見等を頂きましたが、参加事業者様の知的財産保護の観点から参加事業者様にご承諾を頂いた内容のみを公表するものです。

1 調査の対象となる業務の概要（案）

業務範囲

- ア 対象施設：市内全小中学校 75 施設
小中学校給食室 45 施設
小学校児童クラブ 45 施設
- イ 対象業務：
 - a. 保守点検等業務（設備点検、保守管理）
 - b. 修繕業務（概ね130万円以下）
- ウ 予算規模：
 - a. 保守点検等業務 約186,020,000円/年（R4年度契約額）
 - b. 修繕業務 約171,817,000円/年（R1年度～R3年度契約額平均）

2 調査の実施状況

- (1) 実施要領の公表：令和5年5月1日（月）
- (2) 対話実施期間：令和5年5月1日（月）～令和5年5月26日（金）

3 参加事業者数

- 2事業者（法人のグループも1事業者とする）

4 調査結果概要

① 要求水準書（案）、公募要領（案）等に対する意見について

- 示された要求水準書（案）、公募要領（案）を受けて、参入意欲はある。
- 要求水準書（案）、公募要領（案）の妥当性について
 - ・市内事業者の表現について、宮崎市に本店がある事業者以外で、支店や営業所のある場合も市内事業者と考えていいのか分かりにくい。
 - ・参加資格に「宮崎市税及び国税について滞納がないこと」とあるが、参加するためには市内に本社もしくは営業所等が必須となるように感じる。
 - ・事務所の準備の有無については、マネジメント経費の部分で差が出る恐れがあるため、仕様書に記載すべきである。
- 上限額に不定期の委託業務の費用も含まれ本業務の対象となることについて
 - ・不定期の委託業務も実績や各面談を通じて頻度を定める必要がある。
 - ・参考見積は数量や回数等具体的な数字から金額を算出するので、提供資料の「対象業務事業費一覧」は令和4年度の過去1年分だけでなく、過去3年分の実績を参考にしたい。
- 公平な競争を促すため、社会的経済動向の費用はあえて見込まない内容でプロポーザルを実施することについて
 - ・理解するがリスク分担表は作成する必要があるのではないか。
 - ・審査段階では見込まないで構わないと考えるが、優先交渉権者決定後にその取り扱いは協議が必要である。
- 前回のサウンディング調査から対象業務が増えていることについては、全て受託可能である。
- 「マネジメント経費」を定義付けすることについて
 - ・マネジメント経費で、何をどのようにやるかが競争になるため、条件を統一してしまっっては意味がない。
 - ・各社判断とし、条件を統一する必要は無い。

② スケジュールについて

- 示された全体的なスケジュール感は問題ない。
- プロポーザル期間（7月～9月）のスケジュールについて
 - ・一般的には、質問回答から企画提案書提出までの期間が短いように見受けられる。
 - ・質問回答から企画提案書提出までの期間が短いので、質問回答日（期限）の前倒しの検討が必要。

③ 市に提示してほしい資料について

- 追加で提供すべき資料について

- ・公募の段階では無い。
- ・「対象業務事業費一覧」の「受注者」が市内、または市外事業者が分かるように追記をして欲しい。
- 今後の工事予定の資料について
 - ・未確定の情報は必要ない
 - ・改修工事は包括管理対象外となるため、必須ではない。

④ 施設見学について

- 見学する施設について
 - ・見学する施設は市が指定したほうが望ましい。
 - ・給食室のある学校で築年数の古い建物と観察池のある宮崎小学校は見学したい。
 - ・雨漏りの状況が分かるので屋上に上がれると良い。
 - ・特徴的な施設であったり、老朽化が著しい施設を見学対象として欲しい。
- 見学日の指定について
 - ・見学可能期間と時間を設定してもらえると良い。
 - ・施設との調整の上での決定が良い。
 - ・各事業者一斉ではなく個別での見学が望ましい。
- 見学する施設数について
 - ・最低、小学校1施設、中学校1施設は見学したい。
 - ・2施設が良い
- 見学の参加人数について
 - ・6名を希望する。
 - ・学校側の意見を聞いた上での判断が良い。

⑤ プレゼンテーションについて

- プレゼンテーション及び質疑応答の時間について
 - ・プレゼンテーションの時間は20分を希望する。
 - ・事例として、プレゼンテーションは20～25分、質疑応答は20分～30分が多い。

⑥ その他要望、意見について

- 「対象業務事業費一覧」はエクセルデータで公表して欲しい
- 様式にある各営業年度別契約金額一覧表の記入条件が曖昧なので、記入例を示すか、財務諸表の提出に変更して欲しい。

5 今後の対応

今回のサウンディング型市場調査により、参入を検討している事業者の意見を具体的に把握することができました。

今後、今回のサウンディング型市場調査の結果を踏まえ公募型プロポーザル方式による候補者選定を実施し、令和6年4月からの業務開始に向けて取組を進めていきます。